

会議録

会議名: 令和4年度 第5回 運営推進会議(せとうちの郷)

■ 日 時	令和5年1月20日(金)10:00~11:30
■ 出席者	別紙参照
書記	豊田堅一 印
■ 議題	1.『地域包括支援センターについて』 2.小規模サービス評価について 3.利用状況について(特養・ショートステイ・小規模) 4.事故・ヒヤリ・ハットの報告について 5.ご利用者の様子について 6.ご意見等
■ 内容:	
1. 地域包括支援センターについて(小渋謙治郎様 三宅航士様)	
	小渋様と三宅様から、地域包括支援センターについての説明。(別紙資料参照)
質問:	地域包括に電話をしたら来てくれるのか。地域の民生委員に連絡しているのか(天久様) 介護保険は誰が決めているのか。
回答:	直接自宅訪問する。介護保険の手続きの手伝いする。民生委員会(月1回)にて民生委員と情報交換をしている。家族や福祉事務所などから相談はある。 介護保険は岡山市が決めている。認定調査を行い福祉事務所で週2回判定会議がある。(小渋様)
質問:	相談したくても出来ない。手続きに時間がかかる。職員に対して負担が多くなってきているのでは。仕事でジレンマを感じた事があれば教えて欲しい。(内田様)
回答:	相談はしてほしい。介護保険など手続きに時間がかかって申し訳ない。介護保険以外で支援が出来ないかを考えている。広報活動をして、地域包括支援センターの事を知ってもらうようにしている。担当件数と職員数のバランスは悪い。支援の中でもっと早く対応が出来たらよかったのではと感じる時がある。(小渋様・三宅様)
2. 小規模サービス評価についての説明(小規模豊田) (資料1)	
	今年度の反省と来年度の目標の説明を行う。次回運営推進会議で外部評価のアンケートをお願いすると伝える。
3. 利用者状況について(特養森田 小規模豊田) (資料2)	
	事業所毎に稼働状況を報告。 「短期」コロナ感染でショートを止めたので稼働に影響があった。 「特養」入院などがあり、稼働が下がった。 「小規模」入院者3名いる。現在自宅への訪問が必要な利用者が多い為、一日平均20回程の訪問回数になっている。小規模の利用者の介護度は、平均介護度2.3になっている。
4. 事故、ヒヤリ・ハットの報告について(特養森田 小規模豊田)	
	事業所毎に事故の発生状況について報告。(資料3)
質問:	事故の内容はどのようなものだったかの。例えば内出血がどのように行ったのか(内田様)

回答 : 内出血では、利用者の皮膚が弱い所に、職員が気をつけているが少し力が入った介助で発生。 小規模では、発見したら事故報告書を記入しているので、自宅でおこなった内出血もある。 次回より事故の内容と対応策についても記載する。(森田・豊田)
5. ご利用者様の様子について(小規模豊田) 広報誌12月号・1月号と『せとうち食堂』と『藤花ちゃん食堂』の説明。
6. ご意見等
東区地域包括支援センターより案内(小洪様) 地域包括支援センターだよりの説明
西大寺公民館より案内(角木様) 公民館どおりについて説明 『文化会開催』(11月12日・13日・19日・20日)
感染対策を施設は行っている。(大城施設長) 質問 : コロナが春頃に5類になるのは、希望の光が見えたように思えるが、医療がひっばくするのが不安。 解除されても怖いと思う。感染対策をしてもコロナ感染している。感染対策をどう考えているのか。 (内田様)
回答 : 現在気持ちは緩んでいると思う。常に感染対策と言い続けて行く事が大切。(大城施設長)
事務局 次回開催日令和5年3月24日(金) 10:00~

施設長	ケアマネ	相談員	リハ	栄養士	事務	看護師	リーダー・ 管理者